

等号生成の観点から見た集合概念の本態について

田村 高幸 (Takayuki Tamura)

千葉大学大学院社会科学研究院

名辞論理学の本質的な役割に名前間の等号の生成・構築を可能にすることがある。今回は、このような観点を通して、対象(もしくは名辞)として捉えられてきた集合概念の捉えなおしについて論じる。